

防災協定



協定書を手に握手を交わす小原常務理事と片岡市長

大規模災害発生時、避難所での生活に特別な配慮を必要とする人を受け入れる福祉避難所の開設について、社会福祉法人吉備路の会と協定を締結しました。この協定では、主に知的障がいがある人を、障害者支援施設「吉備路学園」と、多機能型事業所「みぞくち」において受け入れることとしており、定員は、それぞれ20人です。

11月22日、同法人の小原章弘常務理事と市長が協定書に署名・押印。市長は、「受け入れる施設をもっているのといないのでは、相違がある。協力をお願いいたします」と、小原常務理事は、「災害が発生した場合、受け入れる側として安心して避難生活を送れるように万全の準備を整えていきたい」と述べました。

これまでに市が締結した災害時の応援協定は、今回の締結を含め56。福祉避難所の数は10施設で、受け入れ可能人数は139人となっています。

特別な配慮が必要な人に避難場所を提供

特別な配慮が必要な人に避難場所を提供

福祉避難所に関する協定締結

問い合わせ 危機管理室 (☎) 8599

総社市今伸びています

人口が過去最高を更新中！

総社市の人口は、平成28年12月1日現在で6万8207人と過去最高を記録しています。

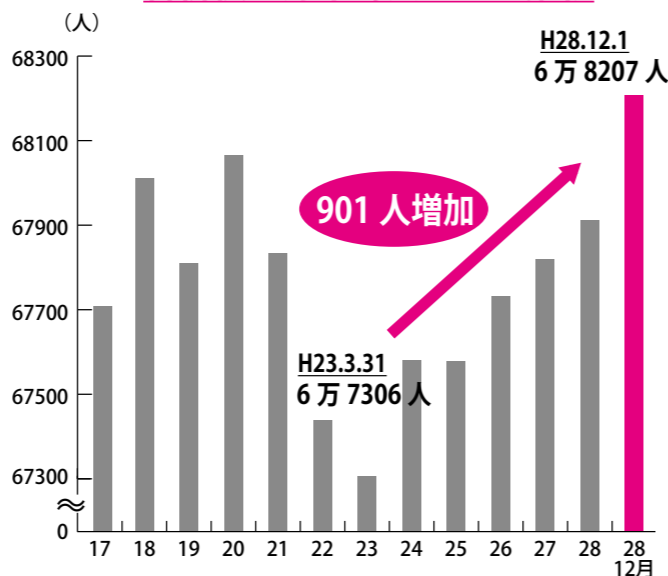
平成17年の旧総社市・山手村・清音村の合併以降、徐々に増えていた人口も、平成20年のリーマン・ショックにより、労働者の派遣切りなどの影響から減り始め、平成23年3月末には、6万7306人にまで減少しました。

それ以降は、緩やかな経済の持ち直しとともに、「障がい者千人雇用」や「新生活交通雪舟くん」、「地・食べ」、「英語特区」、「高齢者支援」など独自の総社流政策を次々と打ち出していき、その結果、人口は増加に転じています。

これからも、他市にはない総社流の施策を実行し、より住みたい、住み続けたいと思われる総社市を目指していきます。

問い合わせ 政策調整課 (☎) 8213

合併後3月末時点の人口推移



そうじゃ特産商品シリーズ第4弾

むかしなつかしの **総社**

小学校 ライスカレー

■価格

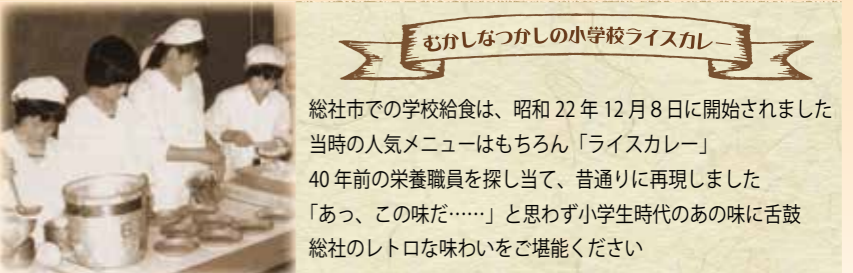
300円 (税込み)

■販売場所

- 市役所正面玄関、サンロード吉備路、そうじゃ地食ベ公社、そうじゃ地食ベオンラインショップ、市内8か所のスーパーの地食ベコーナー
- ・天満屋ハピータウンリブ総社店
 - ・ニシナフードバスケット総社東店
 - ・ハピーマート総社溝口店
 - ・プラザ (総社店、久代店) ・コープ総社東
 - ・山陽マルナカ総社店・ハローズ総社店



※そうじゃ小学校ライスカレーは、市内全15小学校の味を再現します。総社小学校以外のカレーについては、順次発売していく予定です



むかしなつかしの小学校ライスカレー

総社市での学校給食は、昭和22年12月8日に開始されました。当時の人気メニューはもちろん「ライスカレー」。40年前の栄養職員を探し当て、昔通りに再現しました。「あっ、この味だ……」と思わず小学生時代のあの味に舌鼓。総社のレトロな味わいをご堪能ください

総社のうまいものをこの1箱に凝縮

総社グルメボックス

soja gourmet box

そうじゃ特産商品シリーズをこの1箱にまとめました。贈答用として、家庭用として購入してみたいですか。



■ラインアップ (一例)

- ・そうじゃ小学校ライスカレー × 2個
- ・そうじゃ消防署カレー × 1個
- ・そうじゃセロリのミネストローネ × 1個
- ・そうじゃ赤米がゆ × 2個

■価格 2100円 (税込み)

■販売場所 市役所農林課

グルメボックスの中身は、自由にお選びいただくことも可能です。※商品の組み合わせにより、価格は変わります

問い合わせ 農林課地食ベ係 (☎) 8273) そうじゃ地食ベオンラインショップ <http://chitabe.shop-pro.jp/>